

1 経済日誌

2017年8月～2017年11月

全 国		和歌山・大阪	
8月1日	社会保障給付費 過去最高 1 1 4 兆円 国立社会保障・人口問題研究所は、2015年度の年金や医療、介護などの社会保障給付費が前年度比2.4%増の114兆8596億円で過去最高を更新したと発表した。	8月28日	県内輸出入額 6期ぶり増 和歌山税関支署は、2017年上半期の下津、新宮両出張所を含む県内の輸出入額が前年同期比17.5%増の計4006億円となり、6期ぶりに増えたと発表した。
8月16日	訪日客 最多 2 6 8 万人 観光庁が発表した7月の訪日外国人客数は、前年同月比17%増の268万1500人だった。航空便が増えた韓国と台湾がけん引し、単月ベースで過去最高を更新した。	9月7日	大阪中心部のオフィス空室率 4%割れ 賃貸オフィス仲介の三鬼商事の発表によると、8月の大阪中心部のオフィス空室率は前月より0.13ポイント低い3.96%だった。4%割れは2002年以降で初めて。
9月11日	郵政株 1. 4 兆円売却 財務省は、政府保有の日本郵政株を月内にも追加売却すると発表した。売却は2015年11月の新規株式公開以来1年10か月ぶり、売り出し規模は最大1.4兆円。	9月13日	白良浜の海水浴客激減 白浜町は、今夏の白良浜海水浴客が46万300人だったと発表した。昨年より13万6200人(22.8%)の大幅減で、記録がある1987年以降で最少となった。
9月19日	商業地 10年ぶり上昇 国土交通省は、7月1日時点の基準地価を公表した。商業地が全国平均で前年より0.5%上がり、横ばいだった前年(0.005%上昇)から10年ぶりに上昇に転じた。	9月19日	府下商業地 5年連続上昇 大阪府が発表した7月1日時点の基準地価は、商業地がプラス5.0%と5年連続の上昇となり、上昇幅は拡大した。住宅地は0.0%と4年連続の横ばいとなった。
9月20日	米国・アジア向け輸出好調 財務省が発表した8月の貿易統計速報(通関ベース)によると、輸出額は前年同月比18.1%増の6兆2780億円だった。9カ月連続で前年同月を上回った。	9月19日	県内商業地 26年連続下落 和歌山県が発表した7月1日時点の基準地価は、商業地がマイナス1.3%と1992年から26年連続の下落となったが、下落幅は6年連続で縮小した。
10月2日	景況感 10年ぶり高水準 日銀が発表した9月の企業短期経済観測調査は、大企業製造業の景況感を示す業況判断指数がプラス22だった。前回の6月調査から5ポイント上昇し4四半期連続の改善となり、10年ぶりの高水準となった。	10月11日	「小田井用水路」がかんがい遺産に 和歌山県は、紀州藩主だった徳川吉宗の命で江戸時代に県内で整備された「小田井用水路」が、県内で初めて世界かんがい施設遺産に選ばれたと発表した。
10月18日	訪日消費 3兆円超 観光庁が発表した2017年1～9月期の訪日客消費額は3兆2761億円となり、前年同期に比べ15%増えた。同期間で3兆円を超えたのは初めてで、中国や韓国などアジアからの訪日客の消費が堅調に推移した。	10月26日	県人口 95万人割れ 和歌山県が発表した県内の推計人口は、10月1日時点で前年比9604人減少(△1.01%)し94万4320人となり、1967年の調査開始以来、減少数・減少率ともに最大となった。
11月9日	経常黒字 11. 7%増 財務省が発表した、2017年4～9月の国際収支統計によると、経常収支は11兆5339億円の黒字だった。前年同期に比べて11.7%増え、黒字額は上期としては2007年度以来10年ぶりの高水準となった。	10月29日	大阪港・天保山がみなとオアシスに 地域住民の交流や観光振興を通じた活性化の拠点となる港湾エリアを登録する国土交通省の制度「みなとオアシス」に、大阪港・天保山が「みなとオアシス大阪港・天保山」として認定された。
11月15日	実質 GDP 1. 4%増 内閣府が発表した2017年7～9月の国内総生産(GDP)速報値は、物価変動の影響を除いた実質の季節調整値で前期比0.3%増、年率換算で1.4%増となった。プラス成長は7四半期連続で、約16年ぶりの長さとなった。	11月8日	関西医大が看護学部・院を同時開設 関西医科大(枚方市)は創立90周年を迎える2018年4月、看護学部と大学院看護学研究科を同時開設すると発表した。看護学部ではカリキュラムを通じ、全学生が看護師と保健師の国家試験受験資格を同時に取得することができる。

2 地域開発のうごき

2017年8月～2017年11月

和歌山県内

8月3日 田辺市庁舎移転で基本協定締結

田辺市は庁舎移転の候補地と決めた同市東山の複合商業施設について、経営主体「オークワ」との間で基本協定書を締結した。用地を買収し、約88億円をかけ、6階建ての新庁舎を建築する。

8月7日 和歌山地方合同庁舎で業務スタート

法務局や検察庁、税務署など8つの国の出先機関が入る和歌山地方合同庁舎の新庁舎（地上10階・地下1階）で、和歌山財務事務所の業務が各機関のトップを切ってスタートした。

8月17日 JR紀伊田辺駅舎の一部解体工事が開始

JR西日本和歌山支社は、紀伊田辺駅舎の建替えに伴い駅舎の一部解体工事を開始した。新駅舎の事務所棟は鉄骨3階建て、3階と屋上は約300人収容の津波避難スペースとなる。

8月21日 津波予報 18市町に拡大

県は、海底ケーブルを使った地震・津波の観測網「DONET」を活用した津波予報の対象地域を、9月中旬に現在の7市町（38カ所）から沿岸部全域の18市町（98カ所）に拡大すると発表した。

9月1日 紀南看護専門学校 新校舎が完成

紀南病院（田辺市新庄町）の隣に紀南看護専門学校の新校舎が完成した。新校舎は鉄骨4階建て延べ約3850㎡、旧校舎の1.6倍の面積となり、実習室や講堂などの設備が充実した。

10月30日 和歌山市消防局中消防署南分署の新庁舎が完成

和歌山市消防局中消防署南分署の新庁舎が同市和歌浦東に完成し、開庁式が行われた。鉄筋3階建て、延べ約690㎡、11月中旬に職員26名体制で業務を開始する。

11月6日 海南市新庁舎が完成し業務を開始

庁舎の高台移転を進めていた海南市の新庁舎（同市南赤坂）が完成し、業務を開始した。新校舎は第3セクターの元社屋を改修した5階建てと増築した2階建ての2棟で、総事業費は約38億円。

11月18日 「わかちか広場」リニューアルオープン

JR和歌山駅西口地下の「わかちか広場」が、観光情報を発信する「観光交流センター」、地場産業・産品をPRする「アンテナショップ」などを整備し、リニューアルオープンした。

11月21日 南紀白浜空港 民営化へ事業者公募

和歌山県は、南紀白浜空港の運営事業者を公募すると発表した。滑走路の運営権を譲渡する方式を主体に、民間による2019年4月からの運営開始を目指す。

11月23日 美浜町に人工高台完成

南海トラフ大地震の津波に備え、美浜町が松原地区で整備していた近畿最大規模の人工高台が完成した。高さ15.5メートル、頂上部の面積は2400㎡で、約2000人の一時避難所となる。

3 地域開発のうごき

2017年8月～2017年11月

大阪府内

8月2日 東大阪市 西消防署新庁舎の本格運用開始

東大阪市消防局の発表によると新庁舎は、3日間無給油で運転できる発電設備、断水時使用可能な災害用マンホールトイレ、太陽光発電設備を備え、防災活動拠点となる。

8月9日 咲洲庁舎にホテルが入居

大阪府は、55階建ての咲洲庁舎（大阪市住之江区）について7～17階の全フロアにホテルの入居が決まったと発表した。全378室で、2020年2月に全面開業の予定。

9月5日 追手門学院 新キャンパス施設概要を公表

追手門学院は、茨木市に計画している新キャンパスの施設概要を公表した。約6.44ヘクタールの敷地に大学校舎と中・高等学校校舎などを設け、2019年4月の開設を予定。

9月7日 御堂会館跡地で17階建てビル着工

御堂会館の跡地（大阪府中央区）で「エクセルホテル東急」が営業を予定する17階建てビルの起工式が行われた。2019年10月竣工予定で日本初の寺院山門一体ホテルとなる。

9月7日 アスクル最大の物流拠点「ASKUL Value Center 関西」が竣工

シンガポール系の物流会社が建設した大型物流施設「GLP吹田」の竣工式が行われた。ネット通販大手のアスクルが賃借し、来年2月、同社最大の物流拠点として稼働させる。

9月13日 ヨドバシHD 大阪駅北側に大型ビル着工

ヨドバシHD（東京都新宿区）は、大阪駅北側に大型ビル「ヨドバシ梅田タワー（仮称）」建設に着工した。地上35階、地下4階建ての複合施設で、2019年冬の開業を目指す。

9月20日 JR西日本 来年6月にホテル開業

JR西日本は、ホテル事業の新ブランド「ヴィスキオ」の1号店を来年6月6日に大阪駅北側に開業すると発表した。ホテルは、地上8階建て、延べ床面積約1万4千㎡、客室数は400室。

10月5日 ヤマトHD 近畿地方の物流拠点「関西ゲートウェイ」を開所

ヤマトHD（東京都中央区）は、茨木市に物流拠点「関西ゲートウェイ」を開所した。地上6階建て、延べ床面積は約9万㎡の巨大な施設で、本格稼働は11月の予定。

11月7日 新名神高速道路 高槻－川西間、12月10日開通

西日本高速道路は、新名神高速道路の高槻JCT・IC（高槻市）－川西IC（兵庫県川西市）間の26.2キロメートルが12月10日に開通すると発表した。

11月22日 香港旅行会社大手 大阪にホテル開業

香港の旅行会社大手EGLツアーズが、大阪・恵美須町に「大阪逸の彩（ひので）ホテル」（客室数354室）を開業した。海外の旅行会社が日本でホテルを開発するのは珍しい。

4 関西国際空港

2017年8月～2017年11月

関西国際空港

8月24日 関空－仁川線が就航

関西エアポートは、韓国の格安航空会社（LCC）エアソウルが9月12日より関空－仁川線を週14便、新規就航すると発表した。

9月1日 関空－ハノイ線、関空－ダナン線が就航

ジェットスター・パシフィック（ベトナム）は、関空－ハノイ線、関空－ダナン線をいずれも週4便で就航した。これらの路線を格安航空会社が直行便で運航するのは初めて。

9月25日 8月の関空利用客最高 13%増の268万人

関西エアポートは、8月の関空の利用状況を発表した。総旅客数は前年同月比13%増の268万人、国際線の旅客数は12%増の199万人となり、単月として開港以来最高となった。

9月26日 神戸空港運営権、オリックス陣営が契約

神戸市は、関空と伊丹空港を運営するオリックス陣営と神戸空港の運営権売却に関する実施契約を結んだ。同空港は2018年4月に民営化され、関西3空港の一体運営が始まる。

10月3日 関空－シンガポール線、関空－ホノルル線が就航

シンガポール航空傘下の格安航空会社（LCC）スクートは、関空－シンガポール線、関空－ホノルル線の直行便を12月19日から週4便で新規就航すると発表した。

10月17日 関空－大連線が就航

中国東方航空は11月18日～2018年3月24日まで、関空－大連線を週4便で新規就航すると発表した。同社の、関空から中国への就航は13都市目となる。

10月18日 訪日客 9月末で2119万人

日本政府観光局が発表した1～9月の訪日外客数は、前年同期比17.9%増の2119万6400人となり、過去最高のペースで2000万人の万台に乗せた。

10月24日 関空国際線 冬期スケジュール過去最高

関西エアポートは、関空国際線の2017年冬期スケジュール（10月29日～来年3月24日）のピーク時の就航便数について、開港以来最多の週1362便を計画していると発表した。

10月31日 関空－新潟線が就航

格安航空会社（LCC）のピーチ・アビエーションは、2018年3月1日から関空－新潟線をデイリー便で新規就航すると発表した。

11月22日 空港拠点型バスツアーカウンターがオープン

関西エアポートは、関空第1ターミナルビルに12月1日から関空を拠点とするバスツアーカウンター「LIMON WELCOME DESK」がオープンすると発表した。